

# 化学物質管理システム

(大学向け)

廃液内容を明確に提示し、処理委託することは社会的な責任

## 特徴



### ●薬品の受入・使用～廃棄物の最終処分までの全過程でリスク管理

薬品の受入から産業廃棄物の最終処理・最終処分までを、薬品瓶単位、廃液・廃棄物容器単位で化学物質を管理します。

いつ、だれが、どこで、どの薬品をどれだけ使い、どの廃液容器に入れたかが記録され、廃液・廃棄物の内容が正確に把握できます。また、マニフェスト管理機能により廃液・廃棄物をどの産廃業者に処理させたかなど最終処分までの処理状況を追跡できます。この機能により、正確な薬品使用状況の把握、適正な廃棄物処理が行えます。

### ●薬品使用時に有害性情報等の情報を参照でき、安全な薬品使用が可能

使用する薬品の情報をデータベース上で管理し、MSDSや取扱説明書、各種の有害性情報(毒物、劇物、大気汚染防止法対象物質、発がん性物質など)を薬品使用時に参照できます。

### ●PRTR報告など各種の管理情報を自動作成

PRTR法対象物質の排出移動量の自動集計、毒物・劇物の保管リスト、未回収のマニフェスト一覧など、各種の管理情報を自動作成します。

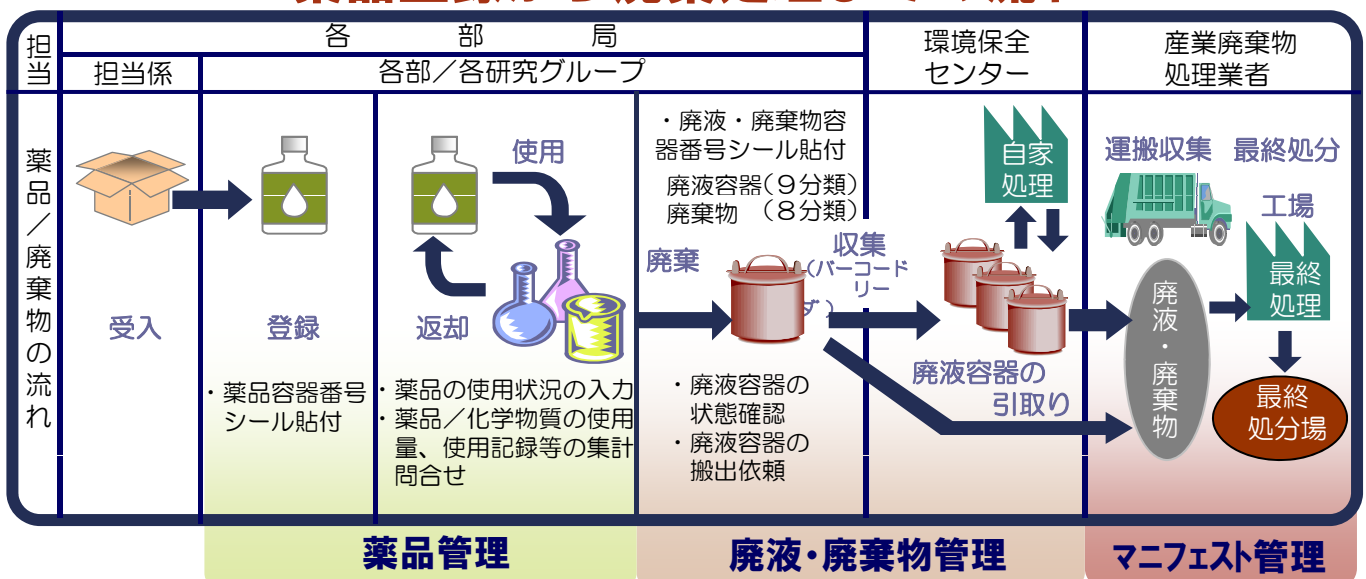
### ●簡単な薬品使用量のデータ入力

薬品瓶の容器番号(バーコード)をバーコードリーダーで読むと、ワンタッチで容器番号が入力できます。また、電子天秤を接続すると、薬品使用量を自動入力することができます。

### ●既設のLAN環境でシステム構築可能

既設のLAN環境でシステム構築／運用ができます。システム導入が短期間・低価格でできます。

## 薬品登録から廃棄処理までの流れ



PFUテクノコンサル株式会社(<http://www.pfu.fujitsu.com/ptc>) 電話 :076-283-8680

担当:ISOセンター 砂山、安本 E-mail: pel@pfu.fujitsu.com